

到津の森公園 将来ビジョン

～いのち、いろいろ、いとうづの森～



令和6(2024)年3月

《 目 次 》

はじめに	1
I. 到津の森公園将来ビジョンの概要.....	4
1. ビジョン策定の背景	4
2. ビジョンの位置付け	4
II. 到津の森公園の現状と課題.....	6
1. 沿革、平成12（2000）年策定の基本計画について.....	6
2. 基本方針に基づく取組内容の総括と今後の課題	8
3. 現状と取り巻く環境の変化	16
4. 強みと今後の課題	22
III. 到津の森公園の目指す方向性.....	28
1. 基本理念	29
2. 基本方針	30
3. 取組姿勢	35
IV. 資料編	38
1. 策定過程	38
2. 令和5（2023）年の園の様子	44

はじめに

到津の森公園は、前身である到津遊園の閉園を惜しみ、存続を求める多くの市民の熱意と、北九州市議会における全会一致の存続決議を受け、平成 14（2002）年に開園しました。

「市民と自然とを結ぶ『窓口』となる公園をめざす」という基本理念を掲げて出発した当園は、皆様に愛され、令和 5（2023）年 4 月には、累計来園者数が 800 万人を超えました。

これもひとえに、来園者をはじめ、「動物サポーター」、「友の会」、「市民ボランティア」など、当園を支えていただいている多くの皆様のお力添えのおかげです。心より感謝申し上げます。

開園から 20 年以上が経過し、動物園の世界的な潮流である「動物の福祉」、生物の多様性や自然の持続可能性などに取り組む「SDGs」や「ワンヘルス」の高まりなど、当園を取り巻く環境は大きく変化しています。そのような状況を踏まえ、市の大切な財産である「到津の森公園」が今後目指すべき姿として、将来ビジョンを策定することとしました。

本ビジョンは、有識者や市民、当園のファン、運営スタッフの方など、大変多くの皆様からご意見をいただきながら作り上げたものです。

今後も、当園が皆様から愛される公園としてあり続けるため、新たな「基本理念」である「かけがえのない自然やいのちを世代を超えて未来へつなぐ公園」を目指し、これからも公園を運営してまいります。

最後に、本ビジョンをとりまとめるにあたりご尽力いただいた、「到津の森公園将来ビジョン策定検討会議」の構成員の皆様をはじめ、ご協力・ご指導いただきました関係各位に厚くお礼を申し上げます。

令和 6（2024）年 北九州市



第1章

I. 到津の森公園将来ビジョンの概要

1. ビジョン策定の背景

「到津の森公園基本計画」は、開園前の平成 12（2000）年に策定したものです。これまで園では、基本計画で掲げる「市民と自然とを結ぶ『窓口』となる公園をめざす」を基本理念に、「自然環境教育施設」、「市民が支える公園」など4つの基本方針に基づく取組を行ってきました。

平成 14（2002）年の開園から 20 年以上が経過し、基本理念である市民と自然とを結ぶ「窓口」としての役割が一定程度達成されたことや、当園を取り巻く環境が大きく変わったことから、今後目指すべき姿として、この将来ビジョンを定めます。

2. ビジョンの位置付け

本ビジョンは、平成 12（2000）年策定の基本計画の基本理念を継承しつつ、次の 20 年の到津の森公園が目指す姿と、その実現に向けた取組の方向性を定めるものです。

本ビジョンで示した方向性に基づき、今後、中期的・短期的な計画・取組を具体化していきます。

また、本ビジョンは「北九州市基本構想・基本計画」及び「北九州市緑の基本計画」といった市の上位構想・計画や、公益社団法人日本動物園水族館協会（JAZA）が定める適正施設ガイドライン等の動物園に求められる指針等を踏まえたものとします。

ビジョンの位置付け

